

静岡

地域の活気につなげる 「ビタミンロード・シャッターアートプロジェクト」

磐田駅北口の西側にある旧西銀座商店街(通称:ビタミンロード、磐田市中泉地区栄町)でシャッターアートプロジェクトが行われています。このプロジェクトのきっかけは、2021年に磐田市が主催して行われた「いわた高校生まちづくり研究所」において磐田西高校の生徒が提案したアイデアに基づいています。それは“人が集まる磐田市をつくります”というテーマで、閉まったままのビタミンロード旧商店街のシャッターにアートを描くという提案でした。

「ビタミンロード・シャッターアートプロジェクト」は、磐田市中泉地区の地域づくり協議会が中心となり、地元高等学校、市内の栄町自治会、アーティスト、塗装業者の協力を得て、2022年に発足しました。手始めとして、試験的に磐田西高校の美術部が制作の準備や描き方を学びながら中泉交流センター東側の磐田市消防団中泉方面隊器具置場にシャッターアートを手がけました。その結果、消防団の周知にも貢献する素晴らしい作品が完成しました。

2023年に「ビタミンロード・シャッターアートプロジェクト」が本格的に開始され、4月に磐田農業高校ビジュアルアート部の芸術班と漫画班によって2軒のシャッターアートが描かれました。その後、7月には磐田東高校美術部が、12月には磐田西高校美術部がそれぞれ1軒ずつ制作し、合計4軒のシャッターアートが制作されました。今後も2軒のシャッターアートを実施する予定です。

このプロジェクトでは地元高校生が制作準備、デザイン作成、制作を担当し、地域の住民がシャッターの清掃、下塗り、交通整理などを協力して行っています。これにより、世代を超えた連携が築かれ、作品づくりは共に喜びを分かち合う貴重な機会となっています。

地域からの評価も高く、制作段階から多くの

人々の注目を浴び、「明るくなった」「他の人にも紹介したい」「もっと増やしてほしい」といった声が寄せられています。今後も、ビタミンロードが明るく楽しい、活気ある道として発展していくことを目指してプロジェクトは進行中です。

最後に、このプロジェクトに携わっているメンバーは、シャッターアートのような賑わいを創出するコミュニティ活動が磐田市内の各地域に広まることを期待しています。是非みなさんも一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



4月に磐田農業高校ビジュアルアート部が描いたシャッターアート



7月にシャッターアートを制作中の磐田東高校美術部の生徒たち